

学部だより

教育福祉学部の「実践アクセス」授業

——ゲストティーチャー・システムと先生方の活動——

本学部には教員として必要な資質能力を確実に身につけた学生に育ってもらいたいという願いを込めたいくつかの取り組みがあります。

トライアルウィーク、学校園支援学生ボランティア活動、インターンシップなど、現場とつながったフィールドワークを実施し、実践力・即戦力をつけようとするカリキュラムなどがそれです。また、現場の第一線でご活躍の方々をお招きしてお話しをうかがう「実践アクセス」授業（ゲストティーチャー・システム）にも取り組んでいます。さらに、教員採用につながる教職支援セミナーを2007年度は年間22回開催しました。この3月には小学校教諭・幼稚園教諭・保育士・特別支援学校教諭として計140名が就職し巣立っていきました。

今回の「学部だより」では、実践力育成をめざした「ゲストティーチャー・システム」を紹介します。これは、大学教育と教育・福祉の現場を結び、学生たちの関心・能力・実践力を高めていこうというものです。

別表に2007年度の取り組み一覧を載せました。教育・福祉の現場で何が起きているのか、どんな風が吹いているのかななどを、学生達が理解しやすいように講師の先生方が角度を変えて情報を運んでくださっています。

ここでは「使える英語」を目指して教育をなさっている高村博正先生の報告を紹介します。

ゲストティーチャーとの意見交換の機会が学生の学習意欲を高め、次の体験活動に自信を持たせることにつながっていく様子が伝わってきます。

教育福祉学部のゲストティーチャー・システム

高 村 博 正

周到に計画された年間30回の授業は、それだけで担当教員のユニークな教案の完全実現であるが、理論と現実の橋渡しをする触媒として外部からゲストを招聘することにより、授業がさらに輝きを増すという成果をあげることがある。

学生と教員の研究授業活動支援プログラムのひとつとして教育福祉学部が誇るプログラムに、「実践アクセス」授業ーゲスト・ティーチャーシステムーがある。各教員の授業がより効果的に学生にインパクトを与えるべく発案された、この「ゲスト・ティーチャーシステム」は、多大な成果をあげている。

筆者の授業では、綿密に立案し教案のなかに年1回の外部ゲストによる講義を含めている。各方面での専門家や現場の声に直接学生を触れさせることは、ほとんどすべての受講生から好意的な反応を得ている。

「発音クリニック」では、帰国子女であるジャネット・尾野氏を招聘した。受講生が活きた英語に触れることにより、年間30回の発音訓練の必要性和その成果を確認するチャンスとなった。ジャネット氏は4歳から渡米し、大谷高校に入学後大谷女子短期大学を卒業された。



「英語Ⅰ（コミュニケーション）」のクラスでは、東大阪市立金岡中学の校長である塩尻文男氏が「中学校長から見た現場のすがた——生徒とのコミュニケーションのとりかた」と題して講演された。子どもと保護者と教師をひとつにするのは、「挨拶・掃除・授業」という教育の基礎の実行にあると教わる。同時に、『校長室だより——ぼちぼち いこか』や『教職員向け連絡紙』や「ふりかえりシート」などを配布してもらい、現場の緊迫した雰囲気伝えていただいた。

「子どもと英語」のクラスでは、筆者が主宰して7年目を迎える「英会話サークル」のメンバーを2名、ゲスト・ティーチャーとして招聘した。大阪大谷大学と近隣地域社会との協力・連携という開かれた大学像を実現するため、「英会話サークル」を開いている。このサークルで長年活躍している苧坂房晃氏と阪口けいこ氏から、「英会話サークル」で行った大谷幼稚園所蔵の英語絵本の朗読・翻訳の結果や子どもとの関わりについてお話していただいた。

「英語科授業研究」クラスでは、藤田靖子氏（元東大阪市立弥刀中学の英語教員／元東大阪市教育委員センター嘱託）の講演を聞いた。長年の中学英語教師としての生徒指導ノウハウと生徒たちの成長の記録は、参加者にとって目から鱗が落ちるお話であった。登録受講生のほか、オブライエン先生（本学文学部英米語学科教授）はじめ、大学院生、他学部学生、近隣地区の市民たちが教室一杯に集まり、貴重な体験をした。

〈2007年度 外部講師招聘〉

2008年 1月16日（水）	「障害児保育」担当：和田野康子 先生 目的：「障害児をもつ母親の心情～将来保育士になる人に望むこと～」 講師：猪倉 千佳 氏
2007年 12月25日（火）	「障害児保育」担当：和田野康子 先生 目的：「幼稚園現場における障害児保育について」 講師：奈良ゆきみ 氏（富田林市立 津々山台幼稚園 教諭） 船井 瑠美 氏（富田林市立 津々山台幼稚園 教諭）
12月18日（火）	「教科教育法特論」担当：金川廣一郎 先生 目的：「日々の国語実践の紹介」 講師：八木 義仁 氏（大阪教育大学附属天王寺小学校 教諭）
12月7日（金）	「教科教育法特論」担当：金川廣一郎 先生 目的：「教育実習実習受け入れ先から見た国語的技術の向上」 講師：中西 一彦 氏（大阪教育大学附属天王寺中学校 副校長）
12月6日（木）	「教職研究」担当：三宅 奎介 先生 目的：「楽しい学級をどうつづけているか」 講師：三村 泰久 氏（門真市立浜町中央小学校 教諭）

12月5日(水)	「ゼミナールⅠ」担当：三宅 奎介 先生 目的：「分かる授業をどう工夫してつくるか」 －上野口小学校の研究課題と子どもの学び－ 講師：江畑 正美 氏（門真市立上野口小学校 教諭） 田淵 尚美 氏（門真市立上野口小学校 教諭）
12月5日(水)	「教職研究」担当：田中 孝治 先生 目的：幼稚園教員の日とその仕事、21世紀に求められる「教師像」について 講師：畷田かよ子 氏（富田林市立錦郡幼稚園 園長）
11月29日(木)	「総合的学習の研究」担当：三宅 奎介 先生、長瀬 美子 先生 目的：「小中一貫教育の中で総合学習をどうつくっているか」 講師：前田 都 氏（吹田市立千里たけみ小学校 校長）
11月15日(木)	「教職研究」担当：三宅 奎介 先生 目的：「学校に行けない子どもの気持ちを考えたことがありますか」 講師：高井 建次 氏（適応指導教室 指導員）
11月1日(木)	「教職研究」担当：三宅 奎介 先生 目的：「楽しい学校をどうやってつくっているか」 講師：仲野 務 氏（富田林市立富田林小学校 校長）
11月1日(木)	「総合的学習の研究」担当：三宅 奎介 先生、長瀬 美子 先生 目的：「地域との連携で学校はどう変わるか」 講師：小林 和彦 氏（門真市立門真小学校 教諭）
10月3日(水)	「英語科授業研究」担当：高村 博正 先生 目的：「中学英語教員からの現場報告と教採対策とアドバイス」 講師：藤山 京 氏（摂津市立第五中学校 教諭）
7月26日(木)	「障害児指導法演習」担当：小田 浩伸 先生 目的：「障害をもつ保護者の願いや思いを理解することを目的とする」 講師：武田 清子 氏
7月4日(水)	「総合演習Ⅱ」担当：高村博正 先生 目的：「日本語式英語で英会話をやろう」英語の実際の運用方法についてのレッスン 講師：ジャネット・尾野 氏
6月29日(金)	「日本語学概論」担当：大槻美智子 先生 目的：「聾学校における発音指導」 講師：河内 清美 氏（大阪府立生野聾学校 教諭）
6月28日(木)	「教職研究」担当：三宅 奎介 先生 目的：「楽しい学校をどうやってつくっているか」 講師：岩本 章 氏（門真市立東小学校 教諭）
6月7日(木)	「教職研究」担当：三宅 奎介 先生 目的：「学校に行けない子どもの気持ちを考えよう」 講師：高井 建次 氏（和泉市立教育研究所 適応指導教室指導員）
5月22日(火)	「学校教育学特別演習」担当：三宅 奎介 先生 目的：「これからの教師に大切なものは何か」 講師：藤澤 三郎 氏（門真市立五月田小学校 校長）
5月16日(水)	「ゼミナールⅠ」担当：三宅 奎介 先生 目的：「工夫ある授業の作り方」 講師：鍛冶 彰 氏（元池田市立石橋南小学校 校長）
5月11日(金)	「日本語学概論」担当：大槻美智子 先生 目的：「聴覚障害児のことばの獲得」 講師：加藤登美子 氏（大阪府立堺聾学校 非常勤講師）